

核 研 総 第 3 7 号  
令和 4 年 1 1 月 2 1 日

関 係 機 関 の 長  
関 係 学 部 等 の 長 殿  
関 係 各 位

大学共同利用機関法人自然科学研究機構  
核融合科学研究所長 吉 田 善 章  
(公印省略)

### 教授又は准教授の公募について（依頼）

このたび、当研究所では下記の要領で教授又は准教授を公募いたします。

つきましては、関係各位にお知らせいただくとともに、適任者の応募について、よろしくお取り計らいくださいますようお願いいたします。

### 記

#### 1. 公募する職種及び人員

プラズマ実験分野 教授／准教授 若干名

(任期 5 年、在任中の業績評価により再任も可とする)

#### 2. 研究内容

核融合科学研究所は、令和 5 年度より 11 の「ユニット」で構成される新しい体制に移行します。研究所の将来計画において、核融合プラズマ研究のパラダイムシフトが中心的な柱であり、そのために大型ヘリカル装置（以下「LHD」という。）を学術研究基盤として再定義し、「高精度プラズマ実験」によって質が高い「物理実験」を実施する予定です。本公募では、高度な計測・解析・実験手法において卓越した能力を有し、LHDをはじめとする学術実験プラットフォームを活用して先進的物理実験を推進するとともに、他分野との連携により学際性を高めてユニットをリードする人材を求めます。

#### 3. 希望事項

- (1) 博士の学位を有すること
- (2) 上記の当該研究分野において実績があること
- (3) 国内外の共同研究を推進し、国際リーダーシップをとる意欲があること
- (4) 学生の教育に意欲があること

#### 4. 公募締め切り

令和 5 年 1 月 12 日（木） 17 時（必着）

#### 5. 就任時期

採用決定後のなるべく早い時期

#### 6. 選考方法

選考は、核融合科学研究所運営会議において行う。

選考においては、書類審査を行い、必要に応じて、面接を実施する場合がある。

面接を実施する場合の面接日は、令和5年2月8日（水）であり、詳細は、書類選考を通過した者へ令和5年1月25日（水）までにメールで連絡する。

## 7. 提出書類

次の（１）～（５）の書類を E-mail（E-mail アドレスは下記 8. 参照）に添付して提出すること。（６）推薦書については、8. 書類送付先【推薦書の提出方法】に沿うこと。

（１）履歴書：任意の様式による。可能な就任時期も明記すること。

（写真貼付、取得学位名を明記の上、連絡先に E-mail アドレスを記入すること。）

（２）研究歴：任意の様式による。A 4 2 ページ以内。

（３）就任後の抱負：任意の様式による。A 4 2 ページ以内。

核融合科学研究所は、令和5年度からユニット体制へ移行する。研究者はいずれかのユニットに所属し研究を行うことになる。就任後の抱負の中に、所属を希望するユニット名（メタ階層ダイナミクス／構造形成・持続性／位相空間乱流／プラズマ量子プロセス／プラズマ・複相間輸送／可知化センシング／プラズマ装置学／複合大域シミュレーション／超高流束協奏材料／超伝導・低温工学から一つを選択）、ユニットにおける研究計画、及び希望する職種（教授あるいは准教授）を記入すること。

各ユニットの研究テーマ、キーワードについては、当研究所ホームページ「ユニットについて」（アドレス：<https://www.nifs.ac.jp/about/org/Unit/UnitTheme.html>）を参照のこと。

（４）研究業績発表論文リスト：和文と英文は別葉とすること。共著の論文については、共著者名をすべて記入すること。また、それぞれの論文について、レフリーによる審査（査読）を経たものであるか、否かの区別を明確にすること。

なお、リスト作成にあたっては、当研究所の「研究業績リスト作成基準」（当研究所ホームページ（アドレスは下記 10.（１）参照）に掲載）によること。

加えて、外部資金の獲得実績についても記載すること。

（５）論文別刷：主要な論文 5 編程度の別刷を添付すること。（別刷がない場合はコピーでも可。）なお、添付した論文の概要と本人の貢献を別途記載した文書を添付すること（任意の形式による）。

（６）推薦書：2 名以上の研究者からの推薦書を提出すること。なお、海外の研究者からの推薦書を含めることが望ましい。任意の様式による。

上記の書類は、履歴書以外は原則として A 4 判横書きとし、それぞれ別葉とすること。また、各書類のすべてのページの右上上に応募者氏名を必ず記入すること。

## 8. 書類送付先

【提出書類（※推薦書を除く）】

核融合科学研究所管理部総務企画課人事係

[nifs-jinji@nifs.ac.jp](mailto:nifs-jinji@nifs.ac.jp)

メール件名を「プラズマ実験分野（教授／准教授）応募希望」とし、上記書類データを添付し E-mail で送付すること。E-mail 送信後、3 営業日以内に受領確認のメールが届かない場合には、下記問い合わせ先まで連絡すること。

### 【推薦書の提出方法】

推薦者が郵送若しくは E-mail で送付のこと。（E-mail で送付の場合は、件名は「プラズマ実験分野（教授／准教授）推薦書」とし、添付ファイルは PDF とする。）

送付先 〒509-5292 土岐市下石町322-6

核融合科学研究所管理部総務企画課人事係

## 9. 問い合わせ先

### （1）提出書類について

核融合科学研究所管理部総務企画課人事係

電話 0572-58-2013（直通）

### （2）研究内容等について

核融合科学研究所ユニット準備室

室長 教授 坂本 隆一

電話 0572-58-2140（直通）

## 10. その他

### （1）この公募内容については、本研究所のホームページ（アドレス：

<https://www.nifs.ac.jp/about/recruit/>）に掲載していますので、ご参照ください。

### （2）給与待遇は原則年俸制になります（年額の12分の1を月額支給）。

### （3）当研究所の任期制については、「核融合科学研究所研究教育職員の任期に関する規則」（当研究所ホームページ（アドレスは上記（1）参照）に掲載）によります。

### （4）本人事においては、男女共同参画社会基本法の趣旨を尊重します。また、自然科学研究機構では、研究者の多様性を高めることにより、教育研究の質の向上に取り組んでいます。

- ・研究・教育業績や人物の評価において同等と認められた場合には、女性と外国人を採用します。

- ・産前産後・育児・介護のための休暇・休業（育児部分休業、介護部分休業を含む。）の取得、又は業務上若しくは通勤途上による傷病に起因する病気休暇・病気休職により研究を行うことができなかった期間がある場合には、履歴書等にその旨明記していただければ、業績を評価する際に配慮します。

以上